

2019年度 第1回 運営会議ニュース

日 時	2019年4月14日(日) 13:30~16:00
場 所	県立座間谷戸山公園 パークセンター(レクチャールーム)
出 席 者	15名

運営会議会長の選任について

(公園)運営会議の規約第3条により、委員からの互選で会長の選任をお願いします。⇒委員の推薦により、前年度に引き続き、脇田さん(谷戸山野鳥と自然観察グループ他所属)が選任された。

●厚木土木事務所東部センターより道路計画に伴う公園整備について

・道路を通りやすい線形や幅にするために公園の形が一部変わる。北駐車場付近の公園外周道路について、道路を小田急の下を潜らせるために3段ぐらい削れた法面が見えるようになる。法勾配を立ててなるべく公園に影響を出さない方針である。北口駐車場の先にある自動車工場跡地に公園を拓けようとしている。環境学習の場として使えないか、大型の車が止められるようにできないか検討中。自動車工場跡地には削った土を用い、現在の植生をなるべく再現する方針。法面は歩道のすぐそばなので灌木類を植栽し、地元産の気候条件、地形条件に合うものを使って、今の状態に近い植生にする。道路整備により大型車も通れるようになり、厚木スマートインターから座間市役所までアクセスが向上し、災害時の支援物資供給等もしやすくなる。市が道路工事をを行い、県が公園の整備を行うこととなっている。

・失われてしまう法面の植生については、2-3月に文献調査を行った。これをもとに5月7日にコンサルタント(谷戸山公園では以前樹林地調査を行ったことがある)に現地調査を依頼する。調査結果は運営会議で公表する。

・公園周辺の自治会に声をかけ、5月中旬の日曜日に道路と公園の説明会を行う予定。日程が決まったらお知らせする。

谷戸山指標生物リストのチェックについて

昨年度に確認された種と確認されなかった種のチェックおよび種の新規追加や修正を行った。

・その他。北12辺りにムサシアブミが拓がっている。南11、12辺りに巨大なムサシアブミがある。湿生生態園の上池に口がとがっていて鯉位の大きさの黄色っぽい魚が見られる。フラサバソウ(ヨーロッパ原産)が南口広場、ピザ窯の近くにあった。

各ゾーンエリアの管理について(各団体等からの報告事項)

●グリーントフ・谷戸山公園グループ(略:グリーントフ)

・アズの花が満開になっている。ウメとアズの花の見分けはガクの反り返り方で見分けられる。ロウバイの花が終わり、たくさんの果実ができて始めている。キブシは雄株と雌株があり、花で見分けることができる。ハナイカダは雄株のつぼみが三つあることで雌株と見分けられる。イノデが盗られているようだ。ニリンソウは今が盛りである。

●座間のホタルを守る会(略:ホタルの会)

・北水路の斜面(田んぼの北側)の生垣が茂り過ぎており、ホタルが見えなくなるので今月高さを抑えるための剪定作業を行った。

・ホタルについては、サクラが咲いて雨が降ったあと、土手に幼虫が上がり、土手の中で幼虫がさなぎになる。水路周りの作業を行う時は注意する。

●ぼらぼら

・5月に山野草の調査を行いたい。ゴールデンウィークの後半を予定している。

●谷戸山自然ボランティア(略:やとボラ)

・(会長)3月からピオトープにカエル(ヒキガエル)の産卵が多くあり、卵塊を南谷戸や湿生生態園に移動した。

・(会長)ログハウス横のピオトープは水漏れか蒸発かで水が減少している。また水が緑になってきている。様子を見るしかないのでは。(やとボラ)アオコではないのか。アオコは毒素が出る。(会長)緑

藻の可能性もある。(やとボラ) 水位が安定していない。水を循環させないとひどくなる。ポンプでの循環はできないか。来年2月になるとまたカエルが集まる。(会長) 水を足して、ポンプを入れるかは協会で検討していただければ。⇒(公園) 湿生生態園の上池に木炭を投入し水質浄化しており、同様に試してもよいかもしれない。水の減少については水を足すようにする。

・ヒメリュウキンカの抜き取り。今年は数回、4月には2回行ったが繁殖力が旺盛なので引き続き作業を行う。

・20日体験館下の作業、アケビを残しオギのみを刈り取った。オノエヤナギは枯死したようだ。

・北口駐車場から入った、伝説の丘上り口(マメザクラがある、以前アオイスミレがあった場所)の作業は落木の除去、ササなどを刈取り初夏らしい風景にした。

・アオイスミレがあったところはササ等が茂っている。初夏らしい風景を目指し作業を行いたい。

・冬鳥の数が減った。今はアオジが残っているくらい。水鳥の池にコガモ8羽マガモ4羽を確認。

・最近カメラマンが増え、三脚を立てる人がいる。狭い園路に三脚を立ててはいけないことになっていると思うが、木道は狭いので木道も三脚使用を禁止してもらえないか。⇒(公園) 木道も狭い園路の一部であり、認識を明確にする必要がある。現在の記載は「狭い園路」のみだが、「狭い園路・木道」にすることで対応する。

・体験館前でナツメとウメの新芽が出ていない。強剪定しすぎなのではないかと心配している。同じく剪定したアンズは出ている。

・前回に引き続きの要望だが、柿の木を野鳥の原っぱの土手側に移植したい。⇒(公園) 何の種類の柿か調べたが不明。(グリーンタフ) 野生の柿ならよいが、野鳥の原っぱには植えて欲しくない。⇒水路を超えた、昆虫の森の端に植えることとする。

●写楽会

・東 2~12 が砂利道になっているが、砂利が大きすぎて乳母車が通りにくい子どもも転ぶ。どうかならないものか⇒(県土木) 最大の大きさが3cmの砂利で碎石舗装している。階段工事の際に作業道路として使用した道に轍掘れができたため、ぬかるみ防止のため砂利舗装を行った。時間と共に締まると思うが、早急に対応したい。

●厚木土木事務所東部センター(略: 県土木)

・階段の擬木化工事は終了した。

・今年度の工事は、木道を長持ちする再生材に替え、階段手摺の傷んだ箇所を交換する予定。

・東口トイレの洋式化は終了、今年度は西口トイレの工事を予定している。

・放送設備の整備を行う予定。

・南 12 付近の木道の補修を行う場合、配慮した方がよい時期はあるか? ⇒8月以降が良いのでは。

・危険木の処理を順次行う。

・県道 42 号道南側法面の工事を今年度も実施する。法面の木を伐採し、安定勾配にする。⇒桜を切るなら植えてほしい

●公園管理事務所(略: 公園)

・今月の里山保全隊は、スギ・ヒノキ観察林内の手入れを行う予定。

・イベント年間予定表を配付。8月に予定している昆虫ウォッチングのみ詳細が未定である。講師をやる人を探したい。

・ボランティア登録証を各団体に配付。

次回開催日	5月12日(日) 13:30~16:00
-------	----------------------

※運営会議への提案や傍聴を希望される方は、公園管理事務所までお申し出下さい。